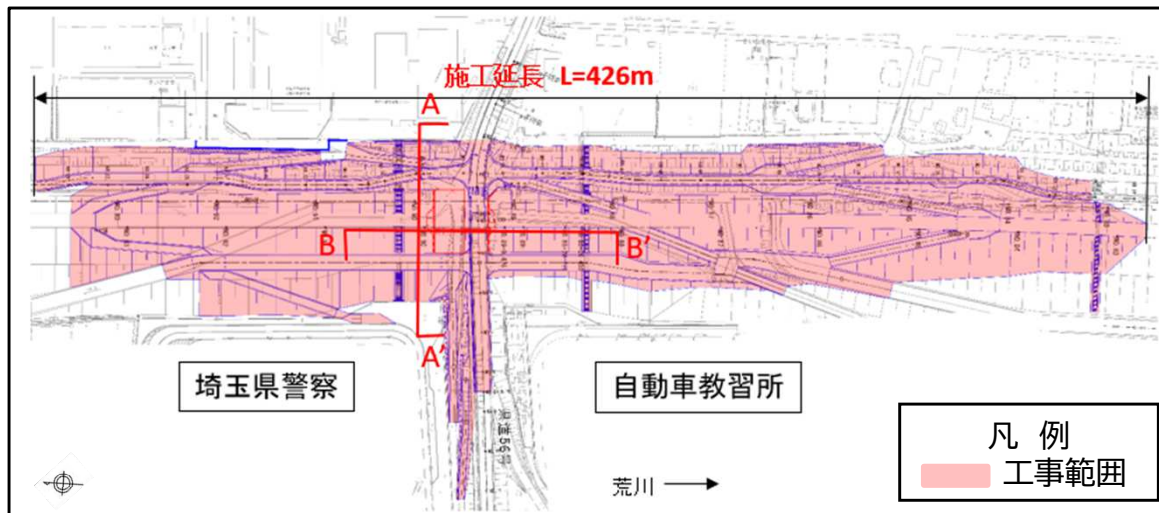


### 斜め写真

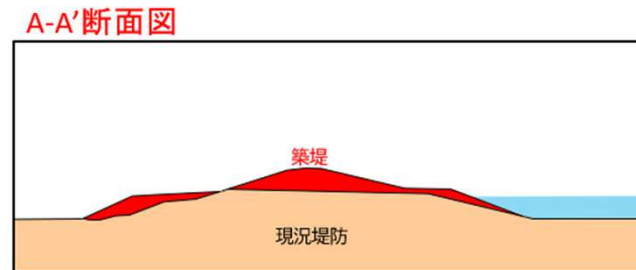


○着 手:令和3年1月  
○完了予定:令和4年9月末

### 平面図

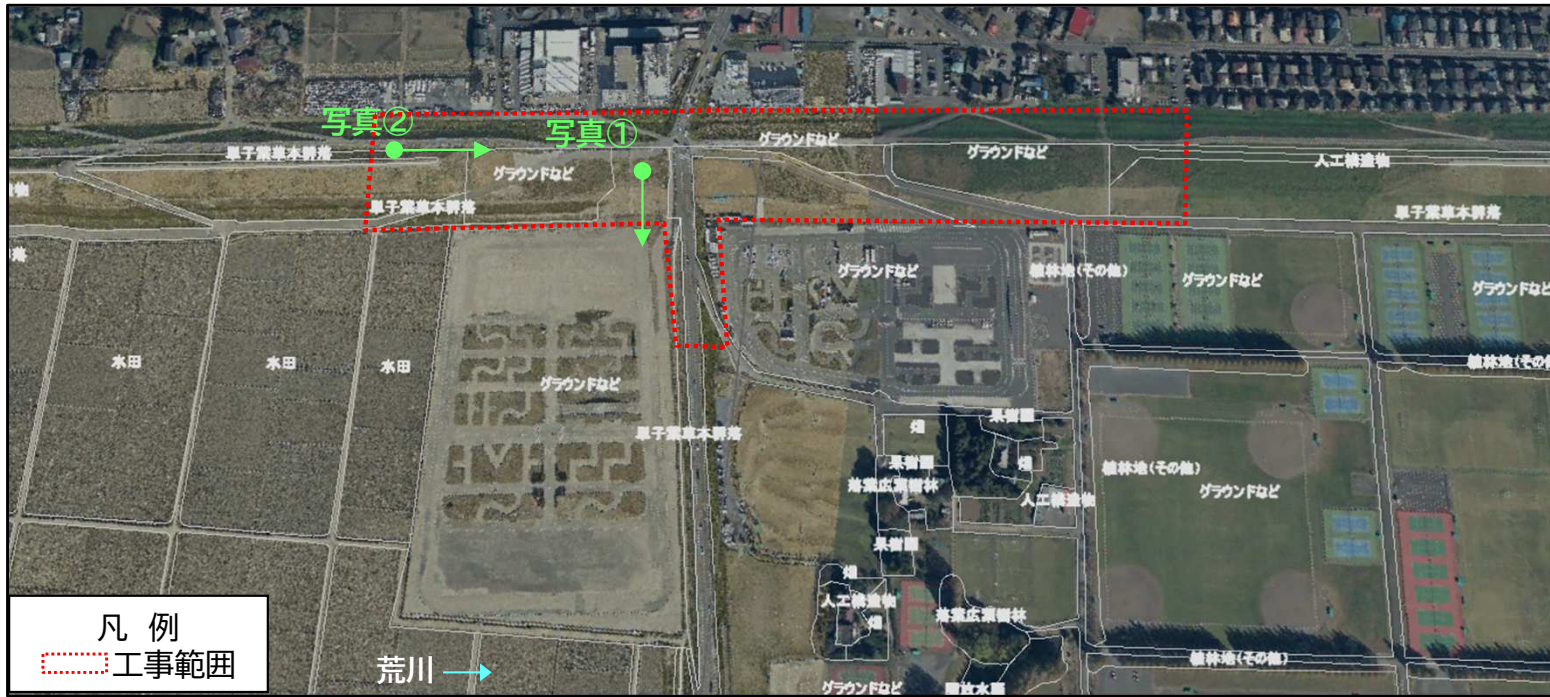


### 標準断面図



### 工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備とあわせて治水橋の左岸周辺に陸閘(ゲート)設置を実施します。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 堤防から下流方向



写真② 堤防から荒川方向

## 主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に草地、堤防、グラウンドで構成されています。
- ・草地は、高水敷のチガヤ群落や堤防のセイバンモロコシ群落などで構成されている。草本群落には、ノジスミレ、ヤブカンゾウ、ミコシガヤなどの在来植物が生育しているほか、ニホンカナヘビ、シマヘビなどの小動物、ホオジロ、ヒバリなどの鳥類、ジャコウアゲハ、キアゲハなどの昆虫類が確認されています。
- ・堤防法面や法尻付近の草地には、重要種(植物)が確認されています。

## 環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有します。
- ・法尻付近の重要種(植物)が群生している箇所は工事ヤードなどから回避します。